

2018年度（平成30年度）  
「福山市子ども・子育て支援事業計画」の実施状況

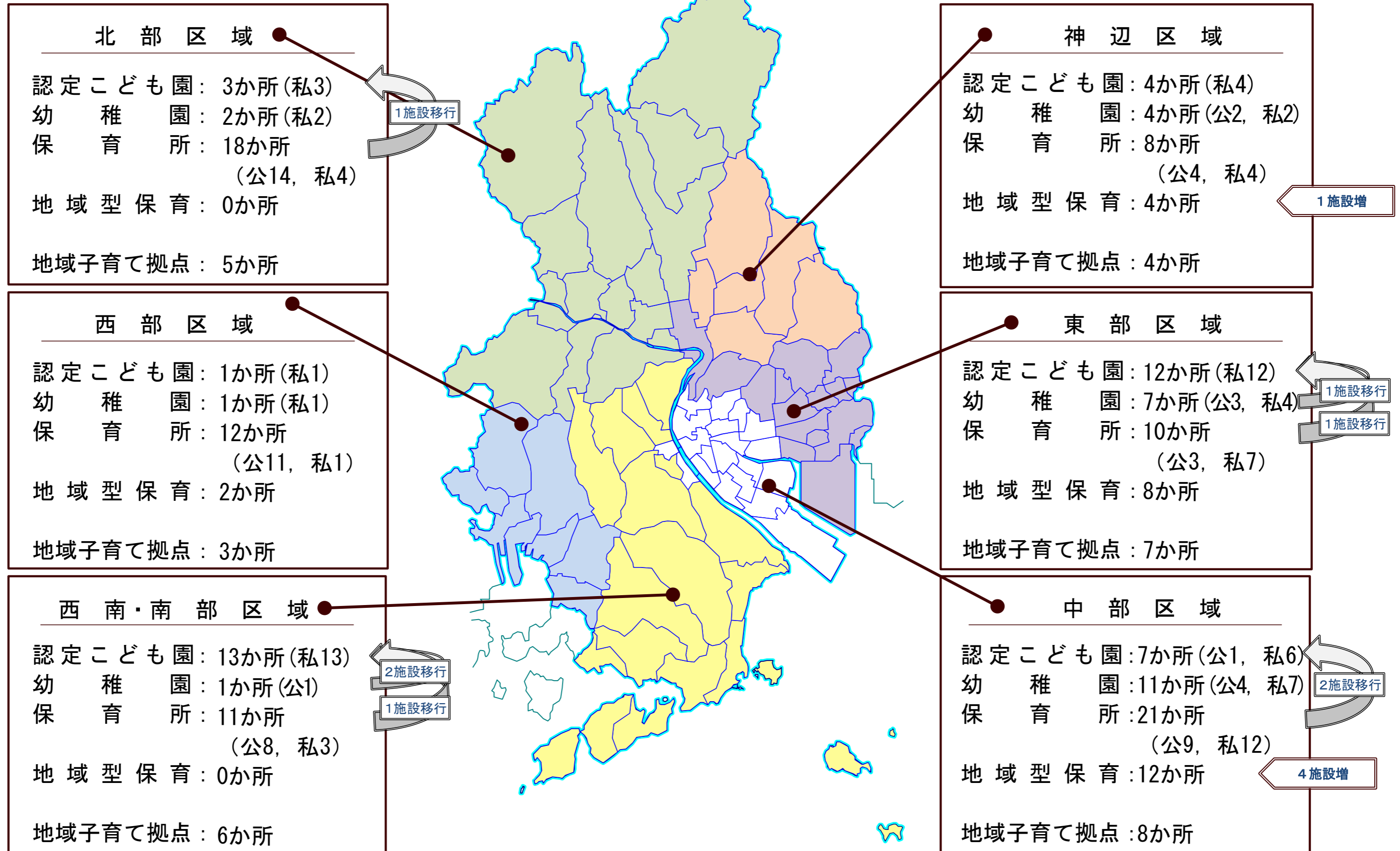
計画期間：2015年度（平成27年度）～2019年度（令和元年度）

- ・教育・保育の量の見込みと確保方策について
- ・地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

# 教育・保育の量の見込みと確保方策について

2019年（平成31年）4月1日現在

○区域別の子育て支援サービスの状況



1号認定＋幼児期の学校教育の利用希望が強い児童（認定こども園・幼稚園）

（単位：人）

○量の見込み

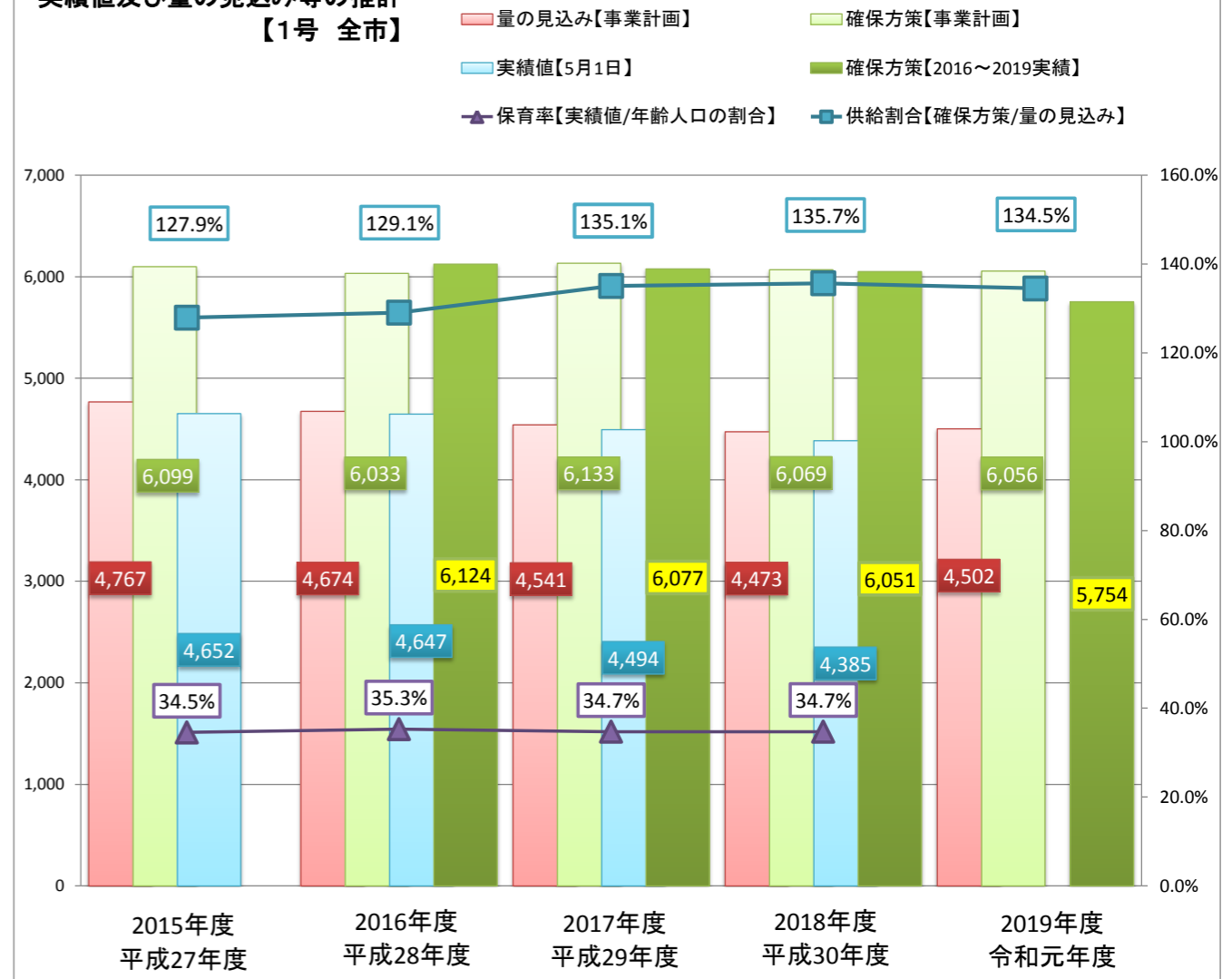
区分	2018年度 事業計画 (A)	2018年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2019年度 事業計画 (C)
3～5歳人口	12,948	12,631	△ 317	12,977
1号認定	利用量 4,383	4,385	△ 88	4,412
幼児期の学校教育の利用 希望が強い児童				
他市町の子ども	府中市	(他市町の子どもを含む)		府中市
	尾道市			尾道市
	井原市			井原市
	笠岡市			笠岡市
合計	4,473	4,385	△ 88	4,502

○確保方策

区分	2018年度 事業計画 (A)	2018年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2019年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	3,469	2,461	△ 1,008	3,456
確認を受けない幼稚園	2,570	3,590	1,020	2,570
他市町の幼稚園	尾道市	30	0	尾道市
合計	6,069	6,081	12	6,056

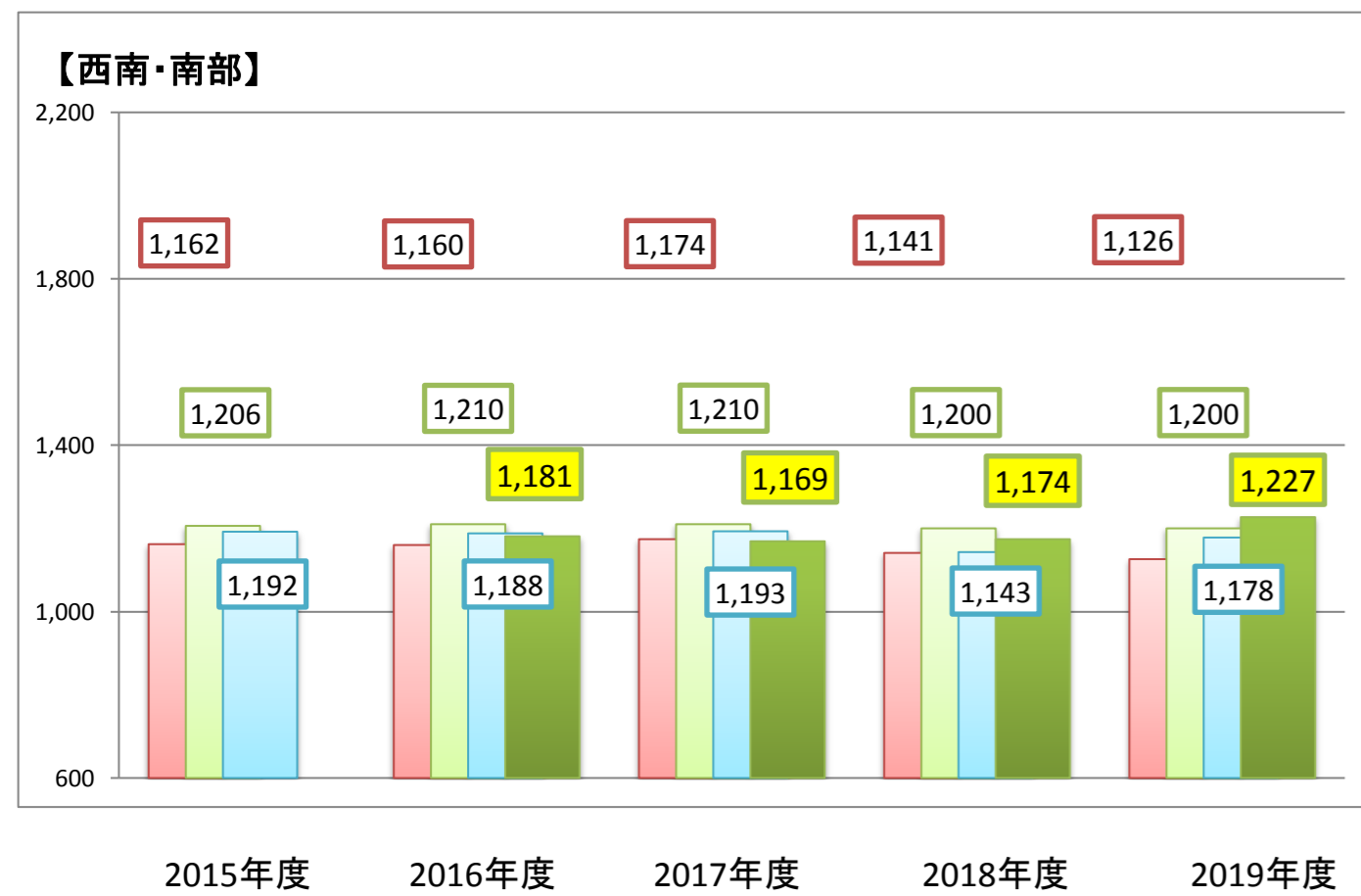
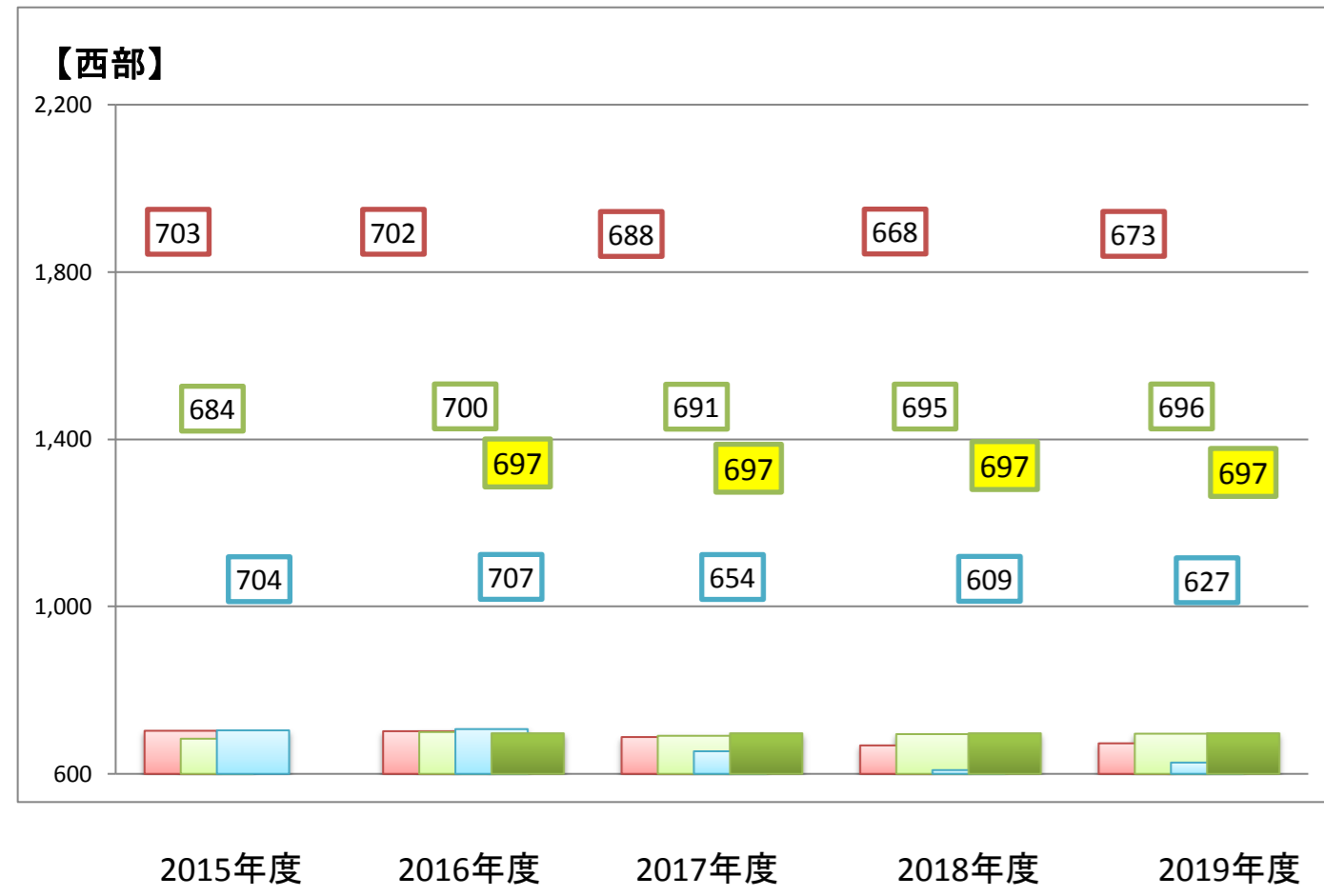
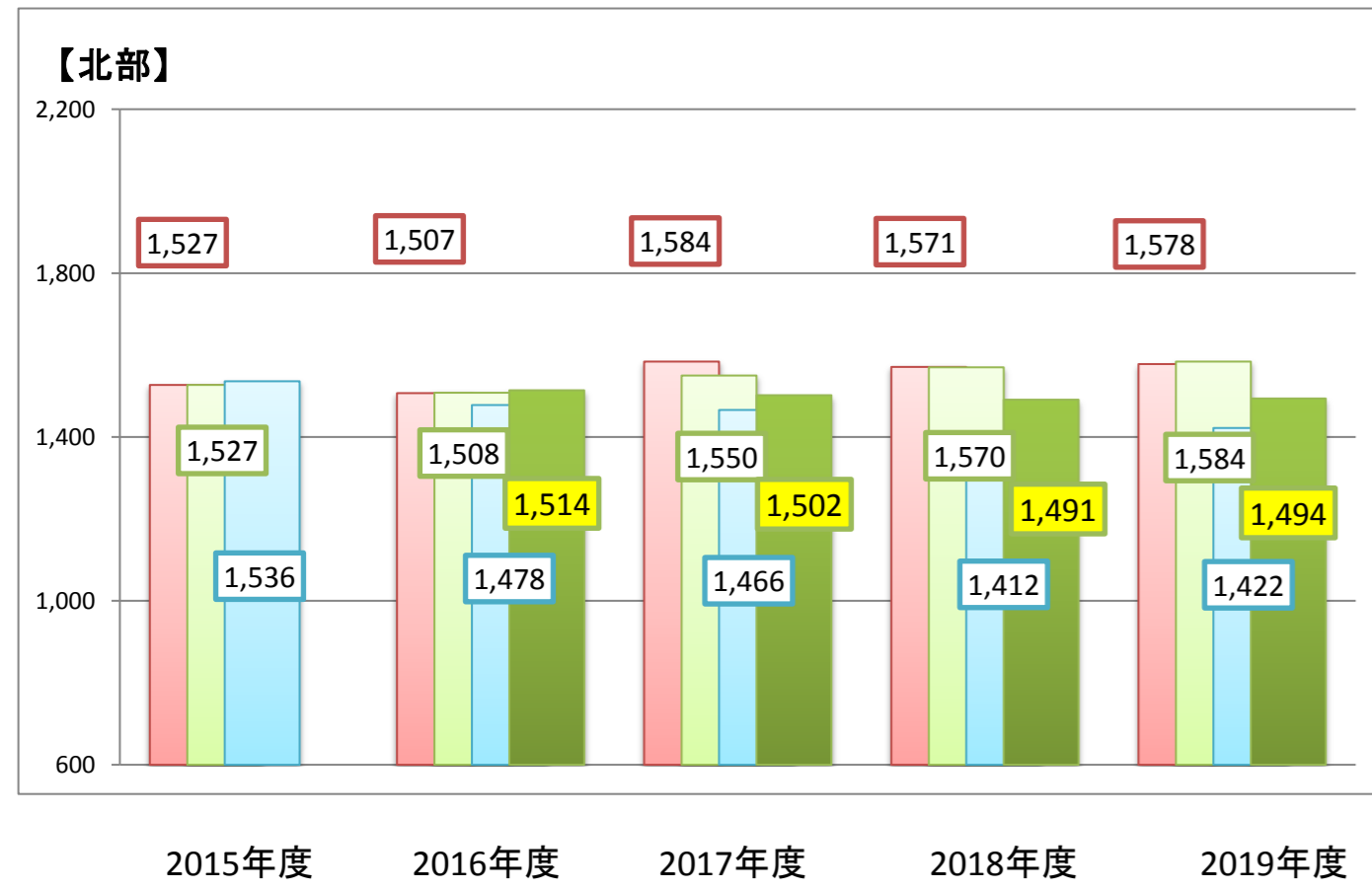


実績値及び量の見込み等の推計  
【1号 全市】



●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	1,681	2,461	780
確認を受けない幼稚園	2,704	3,620	916
実績値 合計	4,385	6,081	1,696



○量の見込み

区分	2018年度 事業計画 (A)	2018年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2019年度 事業計画 (C)
3～5歳人口	12,948	12,631	△ 317	12,977
東部	1,750	1,636	△ 114	1,773
中部	1,994	2,045	△ 51	1,984
北部	1,571	1,412	△ 159	1,578
神辺	897	830	△ 67	918
西南・南部	1,141	1,143	△ 2	1,126
西部	668	609	△ 59	673
利用量合計	8,021	7,675	△ 346	8,052

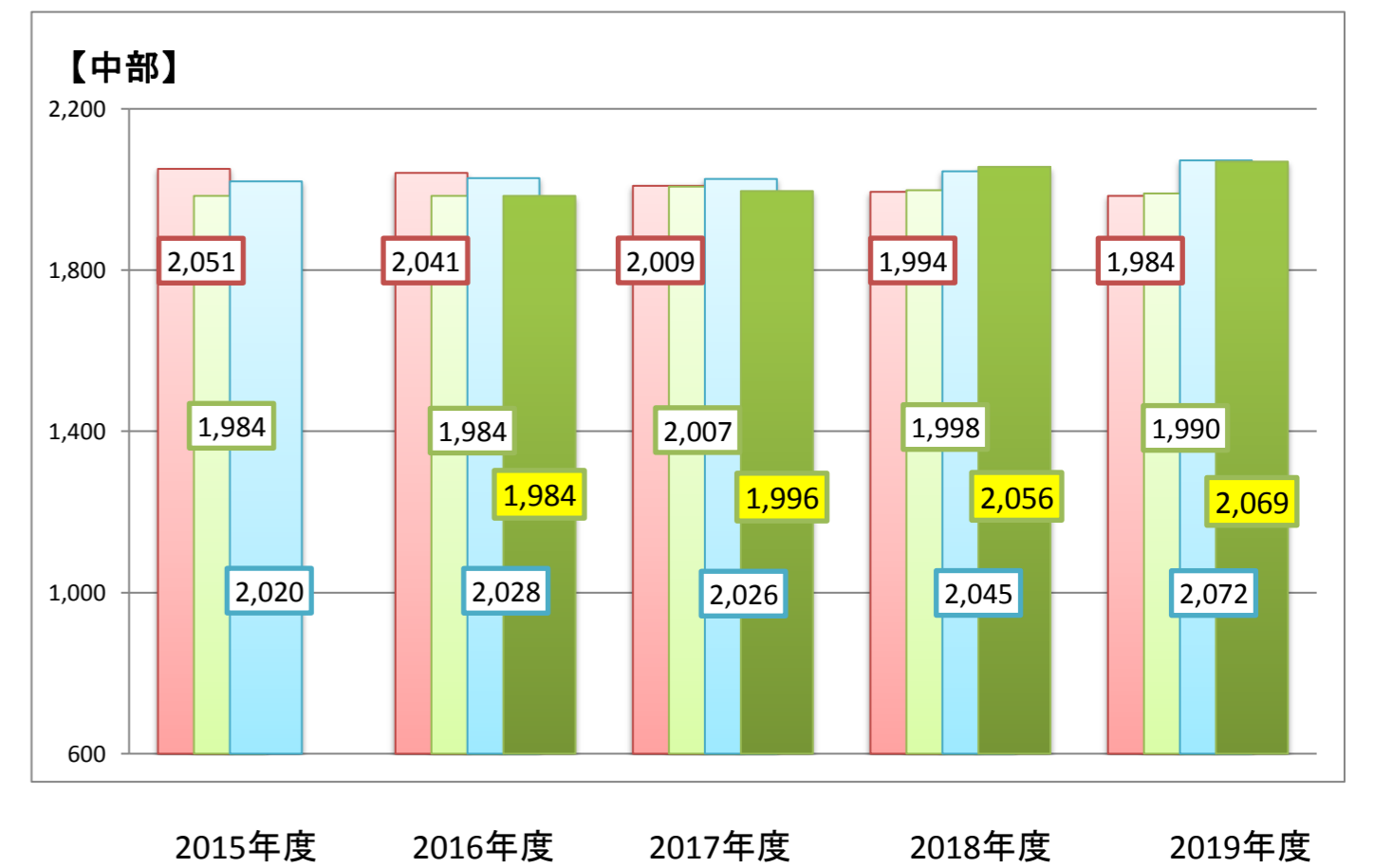
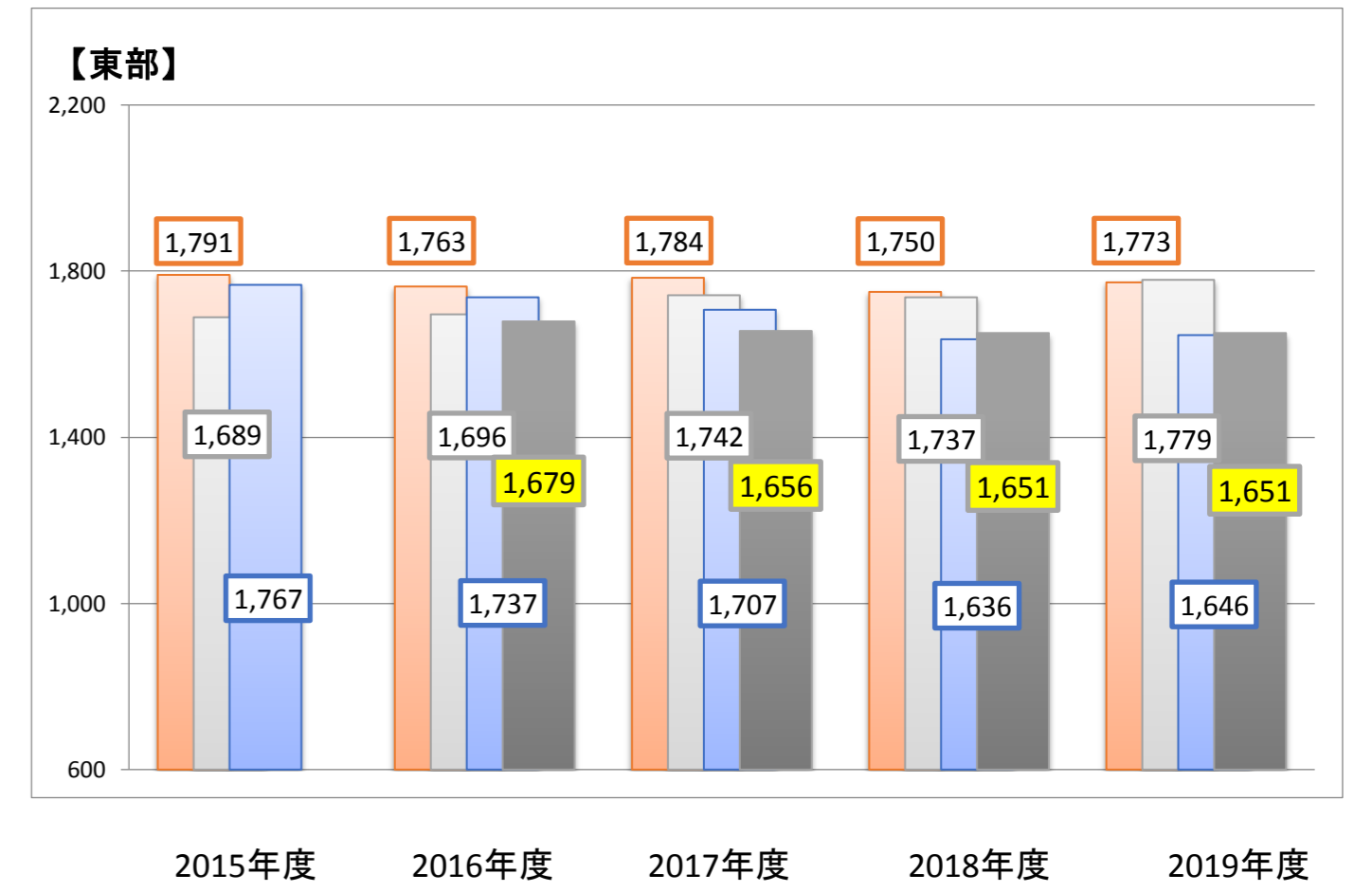
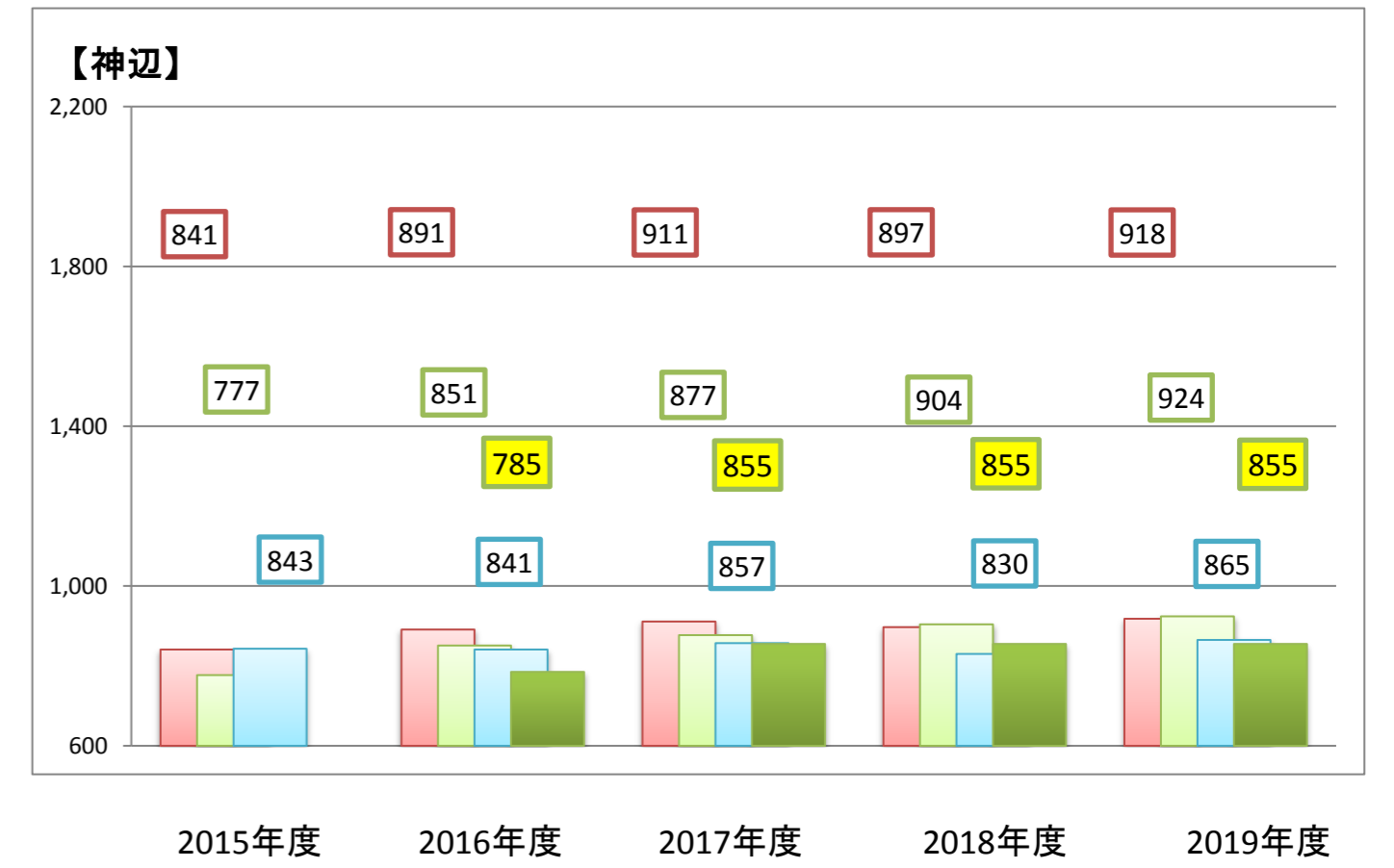
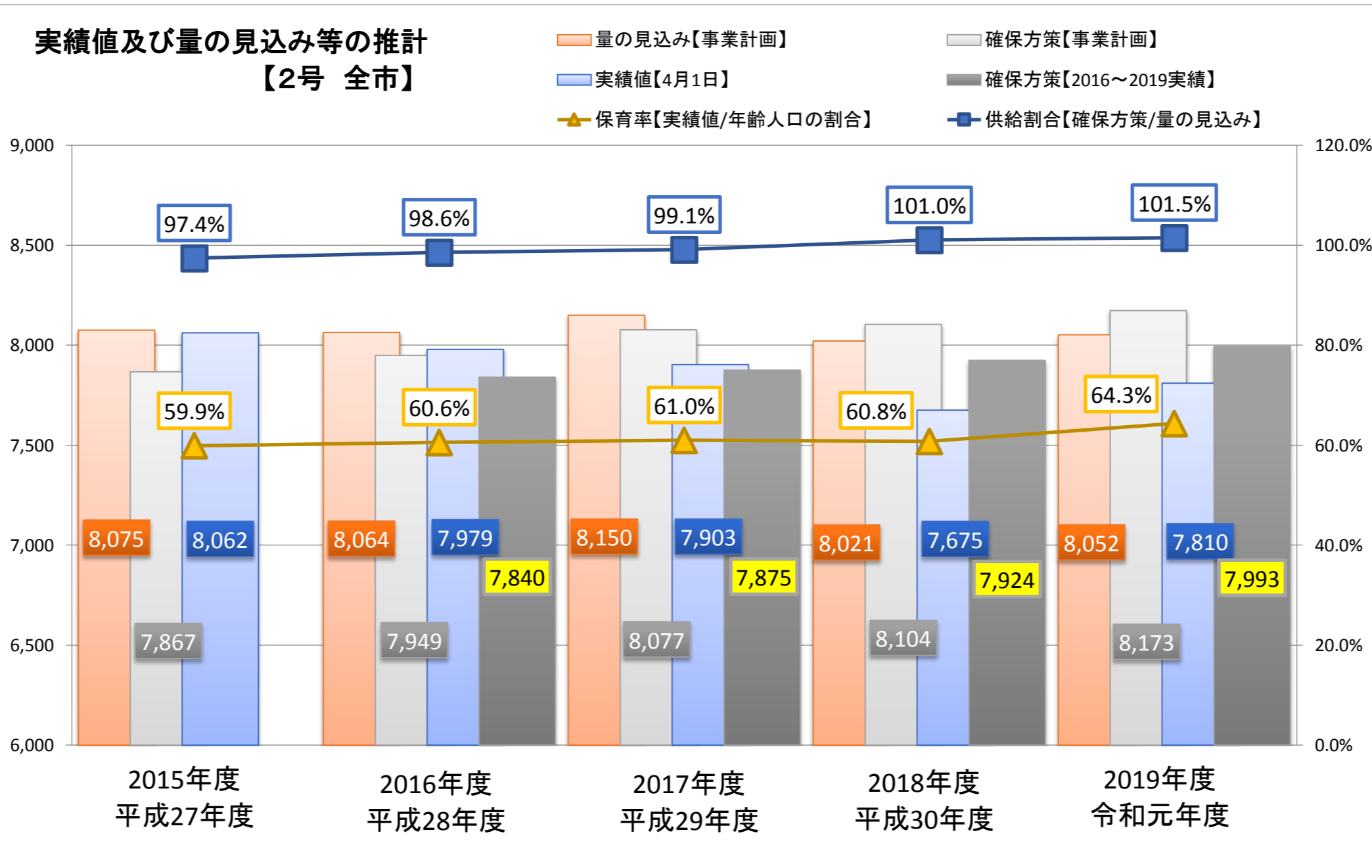
○確保方策

区分	2018年度 事業計画 (A)	2018年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2019年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設	8,104	7,924	△ 180	8,173
東部	1,737	1,651	△ 86	1,779
中部	1,998	2,056	△ 58	1,990
北部	1,570	1,491	△ 79	1,584
神辺	904	855	△ 49	924
西南・南部	1,200	1,174	△ 26	1,200
西部	695	697	△ 2	696
合計	8,104	7,924	△ 180	8,173

●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
実績値	7,675	7,924	249

実績値及び量の見込み等の推計  
【2号 全市】



3号認定【0歳】（認定こども園・保育所・地域型保育事業）

（単位：人）

※ 当該年度の3月1日の0歳児入所児童数に100/120を乗じた数値

○量の見込み ※

区分	2018年度 事業計画 (A)	2018年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2019年度 事業計画 (C)
0歳人口	4,179	3,839【4月1日】 5,713【年平均】	△ 340 -	4,137
利用量	1,029	1,071	42	1,025
東部	265	276	11	265
中部	274	341	67	271
北部	161	128	△ 33	161
神辺	98	97	△ 1	98
西南・南部	158	154	△ 4	157
西部	73	75	2	73
利用量合計	1,029	1,071	42	1,025

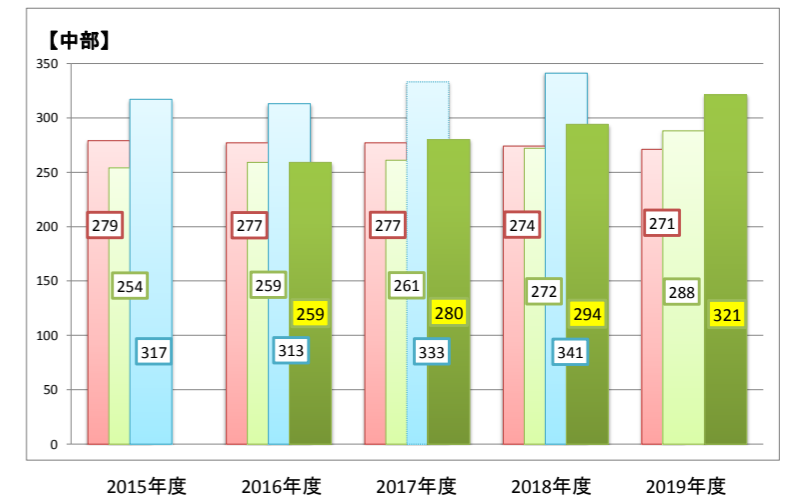
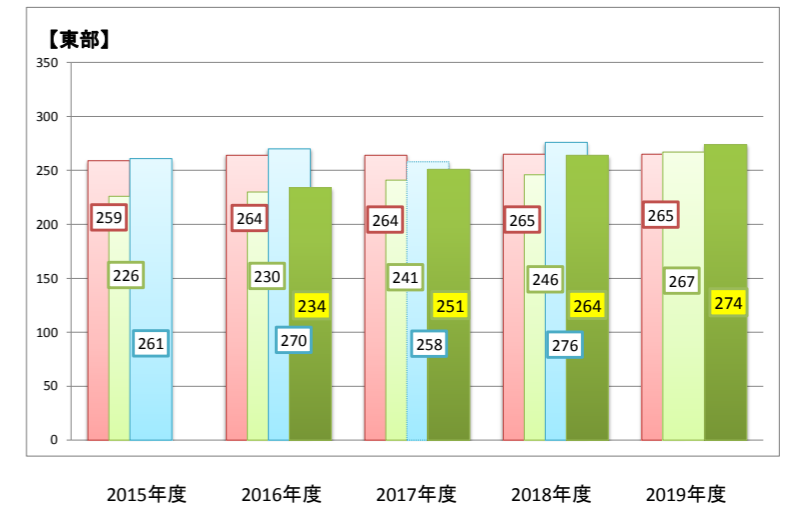
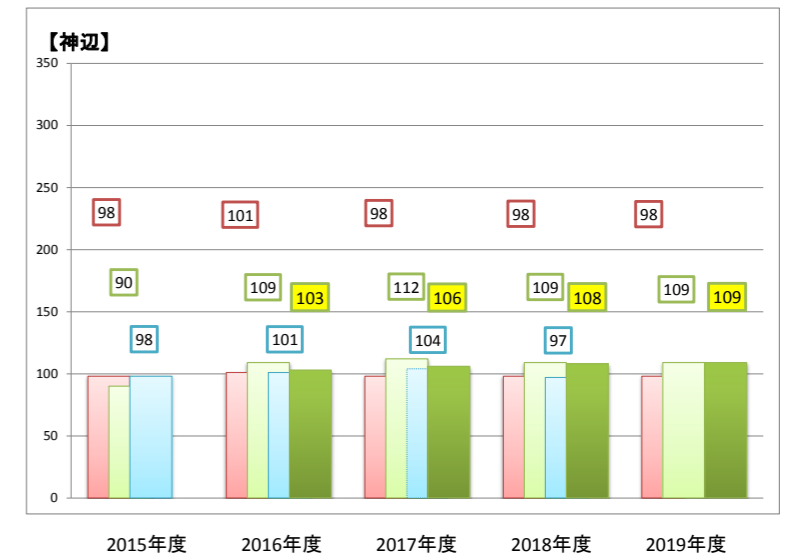
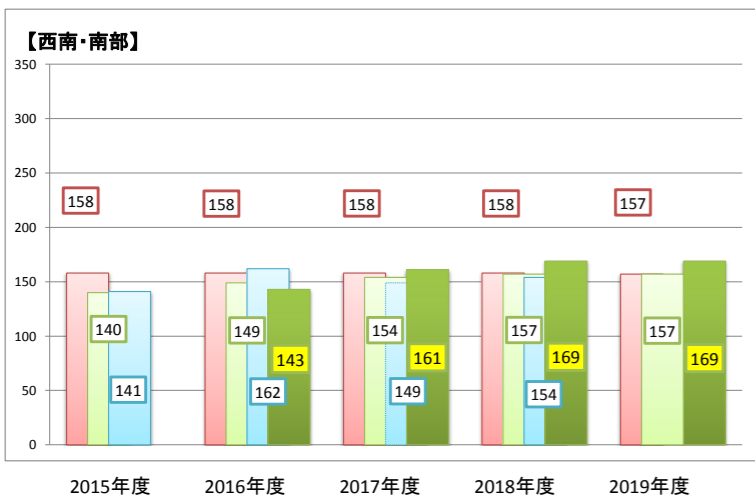
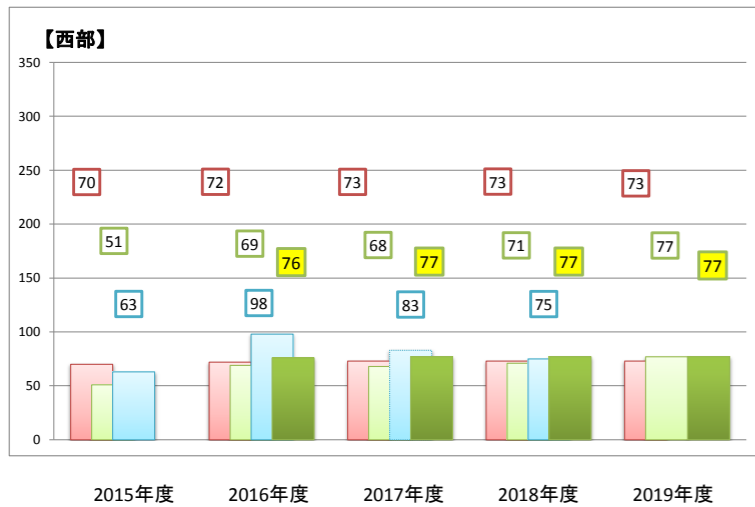
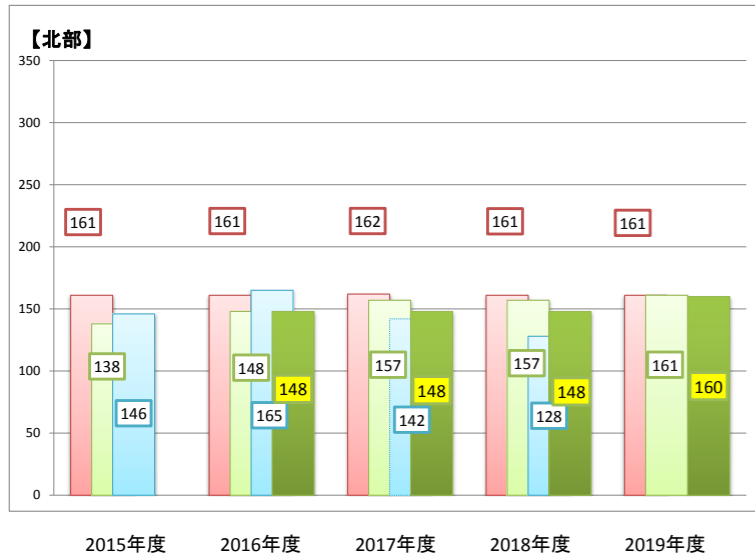
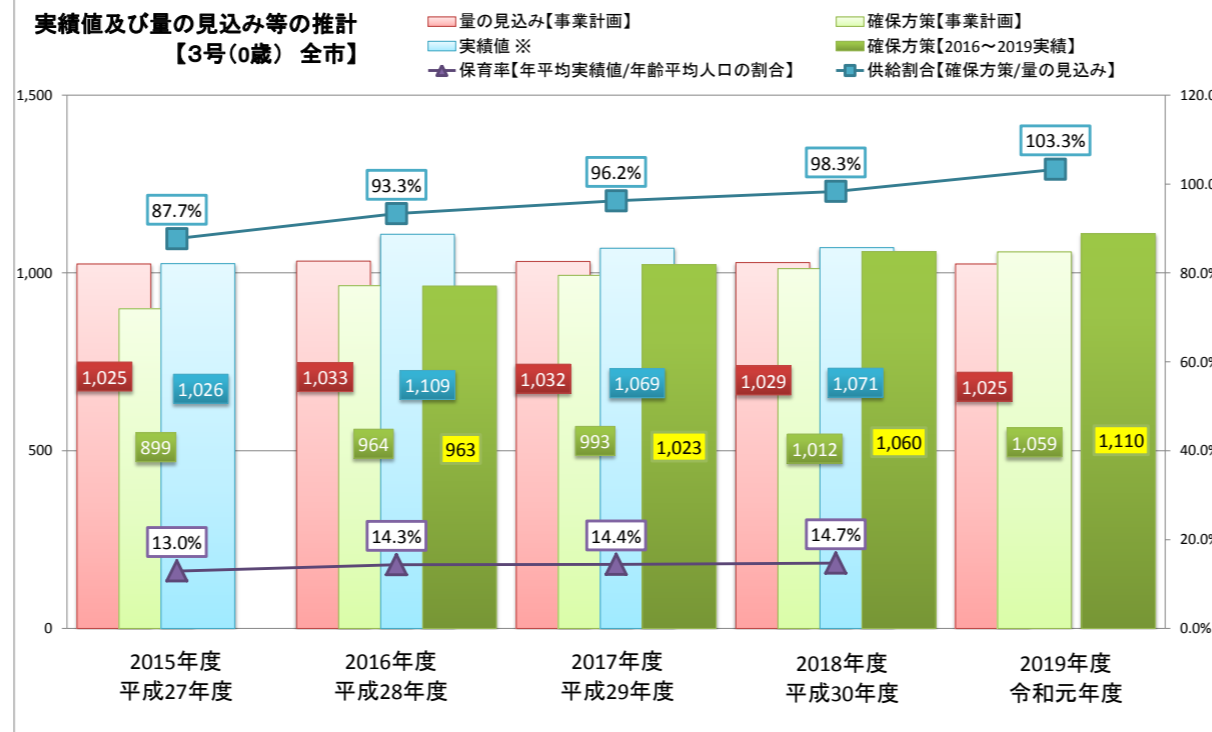
○確保方策

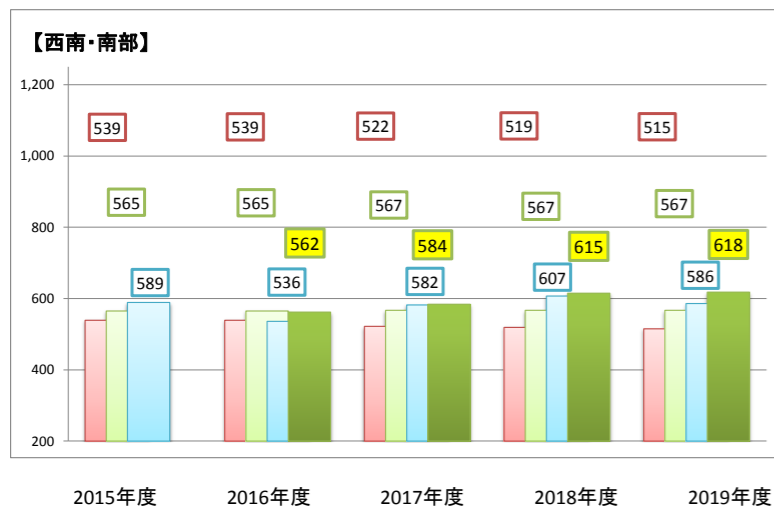
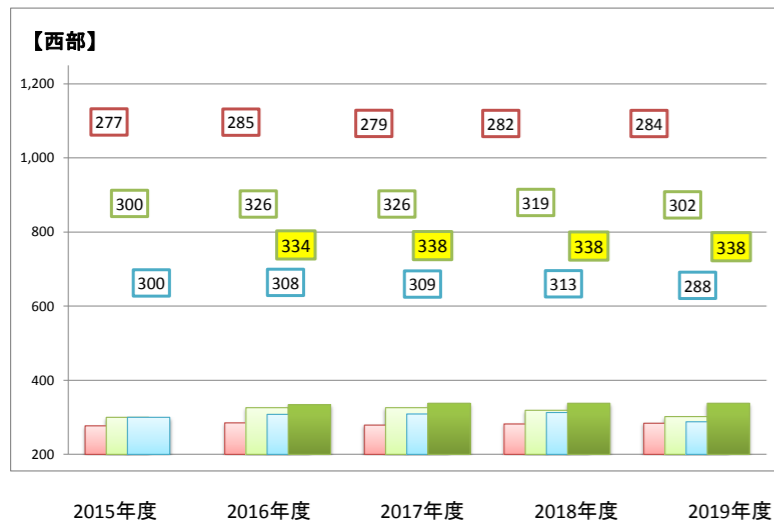
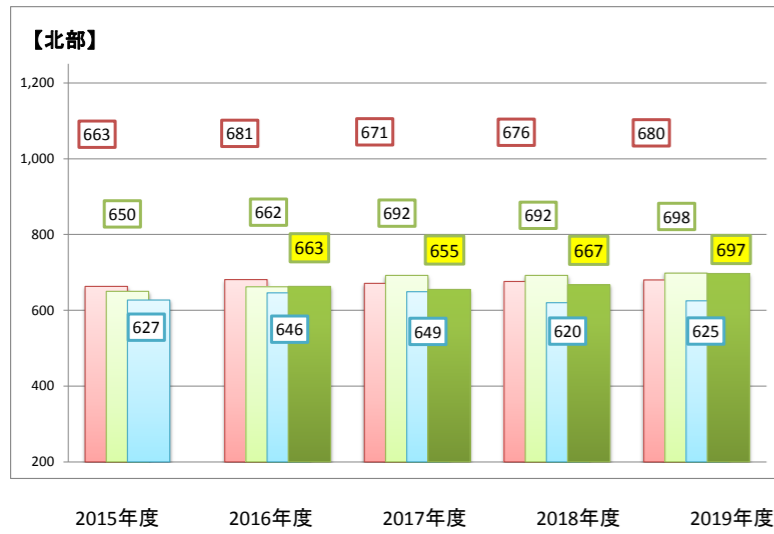
区分	2018年度 事業計画 (A)	2018年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2019年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設	1,009	1,001	△ 8	1,056
東部	245	245	0	266
中部	270	264	△ 6	286
北部	157	148	△ 9	161
神辺	109	103	△ 6	109
西南・南部	157	169	12	157
西部	71	72	1	77
特定地域型保育事業	3	59	56	3
東部	1	19	18	1
中部	2	30	28	2
北部	0	0	0	0
神辺	0	5	5	0
西南・南部	0	0	0	0
西部	0	5	5	0
合計	1,012	1,060	48	1,059

●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
実績値	1,071	1,060	△ 11

実績値及び量の見込み等の推計  
【3号(0歳) 全市】





○量の見込み

区分	2018年度 事業計画(A)	2018年度 実績値(B)	計画値との差 (B)-(A)	2019年度 事業計画(C)
1・2歳人口	8,603	8,055	△ 548	8,542
東部	888	954	66	887
中部	1,108	1,204	96	1,108
北部	676	620	△ 56	680
神辺	441	475	34	446
西南・南部	519	607	88	515
西部	282	313	31	284
利用量合計	3,914	4,173	259	3,920

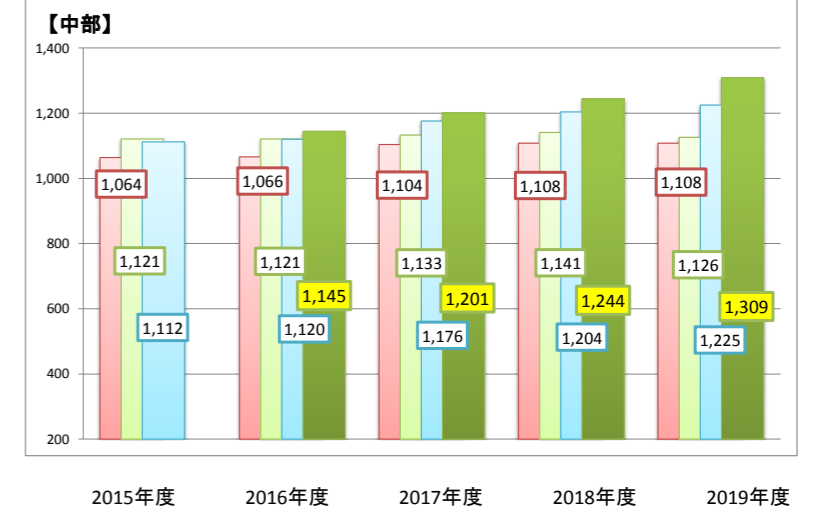
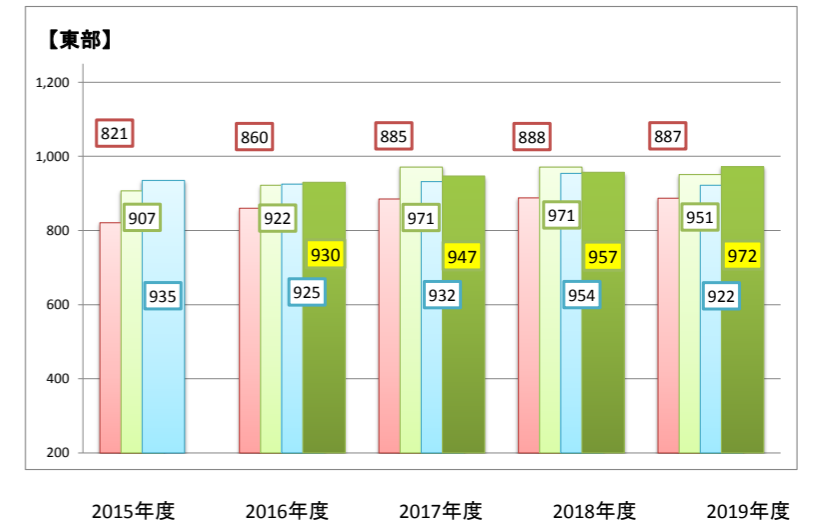
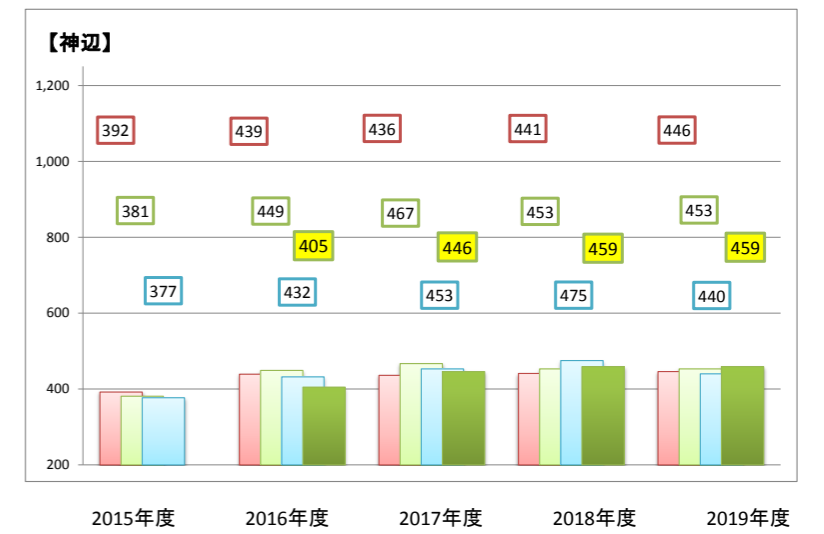
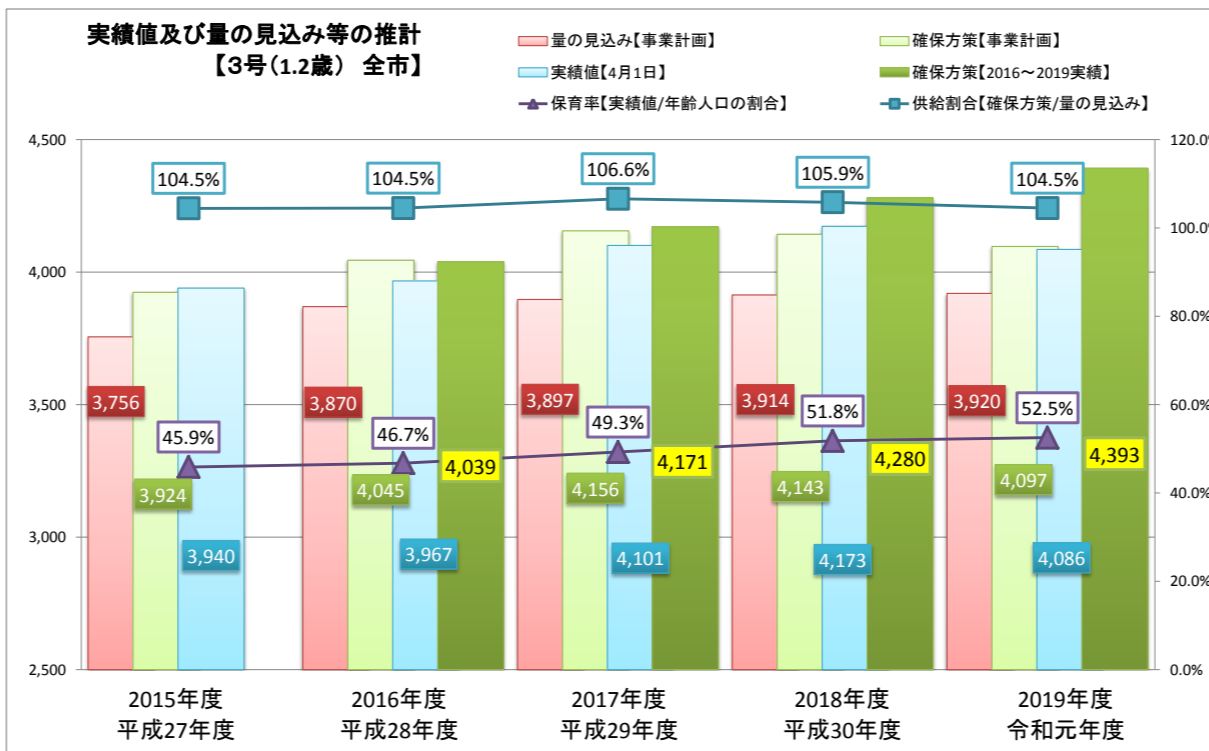
○確保方策

区分	2018年度 事業計画(A)	2018年度 実績値(B)	計画値との差 (B)-(A)	2019年度 事業計画(C)
特定教育・保育施設	4,113	4,074	△ 39	4,067
東部	947	871	△ 76	927
中部	1,135	1,161	26	1,120
北部	692	667	△ 25	698
神辺	453	434	△ 19	453
西南・南部	567	615	48	567
西部	319	326	7	302
特定地域型保育事業	30	206	176	30
東部	24	86	62	24
中部	6	83	77	6
北部	0	0	0	0
神辺	0	25	25	0
西南・南部	0	0	0	0
西部	0	12	12	0
合計	4,143	4,280	137	4,097

●実績値比較

区分	利用量(a)	確保方策(b)	差(b)-(a)
実績値	4,173	4,280	107

実績値及び量の見込み等の推計  
【3号(1.2歳) 全市】





地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画番号	事業名	2018年度事業計画	2018年度実績		2019年度事業計画	次世代育成支援対策推進行動計画【施策の体系】
			実績内容	実績値		
①	利用者支援事業 [子育て世代包括支援センター事業]	量の見込み	●妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援を行うために総合的な相談窓口である子育て世代包括支援センター（福山ネウボラ相談窓口）を12か所設置し、相談や情報提供を行う。関係機関とネットワークを構築し、連絡調整を行う。 ●福山ネウボラ相談窓口「愛称：あのね」実施箇所 12か所 ・ふくやま子育て応援センター ・保育所・認定こども園6か所 ・保健事業実施課5か所	実績値	量の見込み	1- (1) -⑦
		実施か所数（か所）			18	
		確保方策			確保方策	
		実施か所数（か所）			14	
②	地域子育て支援拠点事業	量の見込み	●「キッズコム」や地域の拠点保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者とその子どもを対象に、遊び場の提供、相談・援助、子育て情報の提供、子育て講座を実施した。また、家庭訪問を行い、気軽に相談できる体制を図った。 ●地域子育て支援拠点実施か所（33か所） 一般型 6～7日型 公立（キッズコム） 1か所 私立（いくたす） 1か所 5日型 公立 6か所 私立 4か所 3～4日型 私立 21か所	実績値	量の見込み	1- (1) -②
		利用量（人日/年）			247,812	
		確保方策			確保方策	
		実施か所数（か所）			32	
		【参考】提供可能量	240,000		【参考】提供可能量	247,500
③	妊婦健康診査	量の見込み	●妊婦一般健康診査及び検査受診票を2007年度は1回の妊娠につき2枚交付し、2008年度は5枚交付した。2009年度からは、受診票を補助券方式に変更し実施しており、内訳は、1回の妊娠につき、妊婦一般健康診査補助券14枚、妊婦一般健康診査検査券1枚、子宮頸がん検診受診券1枚を交付した。2011年度からは、上記に加えて検査券にHTLV-1検査を追加、クラミジア検査受診券1枚を交付した。	実績値	量の見込み	2- (1) -③
		対象人数（人）			4,540	
		健診回数（回）	11.6		健診回数（回）	11.6
		延受診件数（件）	52,664	延受診件数（件）	49,037	延受診件数（件）
		確保方策			確保方策	
		延受診件数（件）			52,664	
④	こんにちは赤ちゃん訪問事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	量の見込み	●2008年度から実施しており、2018年度は、訪問対象3,771件に対し、訪問実績は3,629件（96.2%）となった。 [内訳：キラキラサポーター（子育て支援ボランティア940件、育児家庭訪問員1,000件、保健師1,689件）] ●訪問時には「子育て安心ファイル」により、乳児健康相談などの日程や予防接種の受け方、相談窓口の紹介を行うとともに、赤ちゃんの絵本の紹介や「あかちゃんといっしょのおはなし会」などの情報提供をした。	実績値	量の見込み	2- (1) -⑥
		訪問件数（件）			4,179	
		確保方策			確保方策	
		訪問件数（件）			4,179	
⑤	育児支援家庭訪問事業 (養育支援訪問事業)	量の見込み	●2005年度から、育児家庭訪問員（保健師、助産師、保育士などの有資格者）が訪問し、育児支援するとともに、要支援家庭については学区担当保健師と連携した。 ●2009年度からは、こんにちは赤ちゃん訪問事業などで、育児支援が特に必要と判断した家庭を訪問し、育児などに関する指導・助言などを行うことにより、家庭における適切な養育ができるように支援した。	実績値	量の見込み	2- (2) -③
		訪問件数（件）			89	
		確保方策			確保方策	
		訪問件数（件）			89	

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画 番号	事業名	2018年度 事業計画	2018年度実績		2019年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】
			実績内容	実績値		
⑥	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	量の見込み	●実施か所 2か所 ・福山乳児院 (2歳未満) ・こぶしヶ丘学園 (2歳以上)  ●利用状況 ・福山乳児院 4人 12日 ・こぶしヶ丘学園 19人 90日	実績値	量の見込み	1- (1) -④
		利用量 (人日/年) 77		実施か所数 (か所) 2	利用量 (人日/年) 77	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (人日/年) 77			利用量 (人日/年) 77	
⑦	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)	量の見込み	●援助の希望に可能な限り応じ、相互援助活動がスムーズにいくように努めた。 ●活動 延べ件数 1,489件 (うち就学後子ども利用 717件) 前年度 1,641件 主な活動は、学童の迎え、習い事等援助、帰宅後の預かり ●2019年3月末会員数 依頼会員 648人 (616人) 協力会員 169人 (161人) 両方会員 71人 (73人) ( )内は、2018年3月末 ●援助依頼に対応する協力・両方会員の新規会員が少ないため、今後も周知活動を行い、協力・両方会員の増員に努める。	実績値	量の見込み	1- (1) -③
		【低学年】利用量 (延人/年) 2,900		【低学年】利用量 (延人/年) 636	【低学年】利用量 (延人/年) 2,900	
		【高学年】利用量 (延人/年) 242	【高学年】利用量 (延人/年) 81	【高学年】利用量 (延人/年) 222		
		確保方策			確保方策	
		【低学年】利用量 (延人/年) 2,900			【低学年】利用量 (延人/年) 2,900	
		【高学年】利用量 (延人/年) 242			【高学年】利用量 (延人/年) 222	
⑧	一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり) 【1号認定による利用】 【幼児期の学校教育の利用希望が強い児童による利用】	量の見込み	●家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として日中に、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行った。なお、幼稚園の一時預かり事業は、幼稚園在園児を対象としており、保育所等の一時預かり事業は、保育所等を利用していない乳幼児を対象としている。 ●実施か所 36か所 (自主事業含む) ・公立幼稚園 11か所 ・私立幼稚園 3か所 ・私立認定こども園 27か所	実績値	量の見込み	1- (2) -①
		利用量 (延人/年) 38,876		利用量 (延人/年) 92,026	利用量 (延人/年) 38,921	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (延人/年) 38,876			利用量 (延人/年) 38,921	
⑧	一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外)	量の見込み	●保育所による一時預かり ○保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。 ○実施か所 119か所 (自主事業を含む) ・保育所 (公立) 51か所 ・保育所 (私立) 30か所 ・認定こども園 (公立) 1か所 ・認定こども園 (私立) 27か所 ・地域型保育事業所 9か所 ・いくたす 1か所 ●ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) ○延べ件数 1,489件 (2019年3月末) 前年度 1,641件 (うち就学前子ども利用 772件) ○主な活動は、学童の迎え、習い事等援助、帰宅後の預かり ●トワイライトステイ事業 ○実施か所 1か所 こぶしヶ丘学園 (2歳以上) 0人 0日	実績値	量の見込み	1- (2) -①
		利用量 (延人/年) 46,110		利用量 (延人/年) 33,188	利用量 (延人/年) 46,364	
		確保方策			確保方策	
		保育所による一時預かり (延人/年) 45,097	ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) (延人/年) 772	保育所による一時預かり (延人/年) 45,351		
		ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) (延人/年) 1,011	トワイライトステイ事業 (延人/年) 0	ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) (延人/年) 1,011		
		トワイライトステイ事業 (延人/年) 2		トワイライトステイ事業 (延人/年) 2		
⑨	延長保育事業 (時間外保育事業)	量の見込み	●実施か所 129か所 (自主事業含む) ・保育所 (公立) 51か所 ・保育所 (私立) 35か所 ・認定こども園 (公立) 1か所 ・認定こども園 (私立) 31か所 ・地域型保育事業所 11か所	実績値	量の見込み	1- (2) -①
		利用量 (人/年) 6,187		利用量 (人/年) 7,698	利用量 (人/年) 6,180	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (人/年) 6,187			利用量 (人/年) 6,180	



地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画 番号	事業名	2018年度 事業計画	2018年度実績		2019年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】			
			実績内容	実績値					
⑩	病児保育事業	量の見込み	●医療機関 4か所 ・橋高クリニック ・いぶき小児科 ・福山市民病院 ・おひさまこどもクリニック	実績値	量の見込み	1- (2) -①			
		利用量 (延人/年)		4,421	利用量 (延人/年)		1,667	利用量 (延人/年)	4,405
		確保方策						確保方策	
		利用量 (延人/年)		7,000				利用量 (延人/年)	7,000
⑪	放課後児童クラブ事業 (放課後児童健全育成事業)	量の見込み	●対象は市内の小学校に在学する1~3年生(特別支援学級在籍などの児童は6年生まで)であって、保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童(※一部クラブにおいては、6年生までの受入れを実施)  ●開設時間 ・学期中 月~金曜日 下校時~18:00 土曜日 8:30~17:00 ・長期休業中 月~金曜日 8:30~18:00 土曜日 8:30~17:00	実績値	量の見込み	1- (1) -⑤			
		【低学年】利用量 (人)		4,347	【低学年】利用量 (人)		4,825	【低学年】利用量 (人)	4,316
		【高学年】利用量 (人)		791	【高学年】利用量 (人)		268	【高学年】利用量 (人)	792
		確保方策						確保方策	
		【低学年】利用量 (人)		4,347				【低学年】利用量 (人)	4,316
		【高学年】利用量 (人)		791				【高学年】利用量 (人)	792
⑬	多様な事業者の参入促進・能力活用事業 【認定こども園特別支援教育・保育経費】	量の見込み	●社会福祉法人が運営する幼保連携型認定こども園において、障害のある1号認定子ども(※)を受け入れる場合に、職員の加配に必要な費用を助成することで、子ども一人一人の状態に応じた適切な教育・保育の提供に資することができた。  ※特別児童扶養手当の支給対象及びその他健康面、発達面において特別な支援が必要な子ども	実績値	量の見込み				
		利用量 (人/月)		120	利用量 (人/月)		89	利用量 (人/月)	216
		確保方策						確保方策	
		年間受入人月数 (人/月)		120				年間受入人月数 (人/月)	216